

# DETAIL

START!

11:00



**司会進行**  
NPO法人つくば建築研究会  
副理事長  
永井正毅



**主賓挨拶**  
NPO法人つくば建築研究会  
理事長  
坊垣和明



**市長挨拶**  
つくば市長五十嵐立青

11:15



## 基調講演

長屋門所有者の維持管理の変遷と継承意向—茨城県つくば市の事例を対象として—  
山根 知

1997年生まれ。東京で生を受けるが、育ちは茨城県。1年の浪人を経て筑波大学に受かり、理工学群社会工学類に入学。大学院に進学し、現在はシステム情報工学研究科社会工学学位プログラム2年。建築・地域計画研究室にて卒業論文から修士論文まで一貫してつくば市の長屋門の利活用に関する研究に継続して取り組む。

11:45

BBQ TIME!

ファシリテーター4名が田舎の魅力、活用案をご提案



## futashiba248フタシバ

関将史(せきまさふみ) 茨城県つくば市出身 東京モード学園ファッションデザイン学科高度専門士コース卒業

関裕子(せきゆうこ) 長崎県諫早市出身 東京モード学園ファッションデザイン学科卒業

2018年8月futashiba248(フタシバ)を設立。剪定された木枝や規格外で市場に出ない野菜・果物などの農業廃棄物を、県内各地の農家から提供してもらい、その原料から生み出される色彩を草木染し、「農color」と名付けてアピールする。

## こころとからだに向き合う東洋医学的生き方



田島(山脇)千賀子(Vida Sana代表)

1988年筑波大学大学院への進学を期に現在に至るまでつくば市在住(ペルー留学していた約2年間を除く)。文教大学国際学部元教授。異文化コミュニケーションの根源的手段としての「身体」を対象にした知識と技術を身につけるために、はり・きゅう・あんまマッサージ指圧師の国家資格取得。病気にならないからだところのヘルスケアを世界の人のびとと共有していくビジョンを掲げてVida Sana開業。

## 里山の農と水 -EMでつくる-



関東EM普及協会理事兼茨城代表 飯塚敏夫

元自動車会社幹部職、47歳時にEMの会員に。その後実家の農業を継ぎ、有機農業に精を出す傍ら1995年『かすみがうら市よもぎの会』設立。

公民館館長や民生委員もこなしつつ現在『一般社団法人民間稲作研究所認証センター』の検査員を務める。子供たちへの環境教育に関心を持つ。※EMとはEffective Microorganismsの略。有用な微生物群の意

## ルーラル吉瀬で楽しむ古民家活用



株式会社田園ブラン 代表 根本裕輔

1983年生まれ日本大学生産工学部建築工学科卒業 都内でインテリアデザインの職に就くも結婚を機に帰郷。1992年父健一が開業した『フォントーンの森』現代表。生家である農家『つくば文化郷』の利活用にも積極的に取り組む。DIY好きな三児の父。二級建築士。  
人生はDO IT YOURSELF。とにかくまずはやってみるが信条。

13:15 休憩

13:35 ディスカッション&まとめ

14:20

終了

## NPO法人つくば建築研究会

私たち「つくば建築研究会」は2005年の設立当初より、世界を舞台に活躍する建築家による「近代建築」や歴史と文化を内包してその豊かさを今に伝える「古民家」などを調査・分析し、皆様に報告することで、つくば(筑波)固有の景観資産やまちの魅力をつくば市内外の皆様と報告、共有し、そしてその魅力を次世代につなげる取り組みをしております。今回の市民シンポジウムでは、筑波の伝統的景観を守る具体的活動の足掛かりを見出し、今そこにある魅力を守り、活かし、そして新たな筑波(つくば)の魅力を作り出す事業「もん泊」をとりあげます。